

困難な問題を抱える女性支援事業【新潟県長岡市】

個別事業費	7,969 千円
交付金額	3,984 千円

地域の実情と課題

DVや性暴力、ストーカー被害、家族関係の悪化など、女性が抱える課題は多様化・複雑化しており、支援ニーズも一様ではない。中には、困難を抱えながらも表面化せず、支援につながっていないケースも少なくない。また、DV等により自宅以外での安全な居場所や心の拠り所を必要とする女性が一定数存在していると考えられる。特に支所地域(旧合併地域)では、相談機関までの距離等が障壁となり、相談につながりにくい状況が見られる。

事業の特徴

- ・ステップハウスによる安全な居場所の提供
- ・自立支援グループワーク事業と相談支援を組み合わせた支援
- ・支所地域でのアウトリーチによる相談機会の創出
- ・生理用品配布を通じた潜在的対象者へのアプローチ

事業の効果

ステップハウスにおいては、中・長期的な滞在支援により、行政手続きの同行や就労準備などを切れ目なく行うことができ、退所後の自立に向けた環境整備が進んだ。また、自立支援グループワークは、日常的に立ち寄れる場として相談の入り口となり、支援につながりにくかった女性との関係構築に有効であることが確認された。アウトリーチでは、支所地域の女性は相談機関までの距離が障壁となっていたため、地域内での開催は“相談につながるきっかけづくり”や“居場所づくり”として効果を発揮した。

目的・目標

困難な問題を抱える女性を早期に発見し、安心できる環境で心身の回復を図りながら、自己肯定感を取り戻し、自立に向けた次のステップへつなげることを目的とする。

【目標と達成状況】

- ・ステップハウス利用者 6人 → 達成状況 5人
- ・自律支援グループワーク参加者のうち次回以降の参加又は相談支援につながった者30人 → 達成状況 26人

連携団体

- ・NPO法人(女性支援活動の実績を有する団体)
- ・配偶者暴力相談支援センター
- ・定住自立圏域市町(見附市、小千谷市、出雲崎町)
- ・生活困窮者支援機関、フードバンク等

今後の課題

- ・支所地域など、地理的制約により相談につながりにくい女性への支援を継続・強化する必要がある。
- ・支援ニーズの多様化に対応するため、支援団体間の情報共有や役割分担を一層強化する必要がある。
- ・居場所やアウトリーチで支援につながった後の、継続的なフォローアップ体制の充実が課題である。

